

梅窓院通信

No.67
2013/10/01

青山



住職挨拶

梅窓院第二十五世

中島 真成



はやいもので、今年も残すところあと二か月となりました。皆さんお変わりなくお過ごしでしょうか。

この十月発行の『青山』十夜号ですが、毎年、満月の写真が表紙を飾っています。皆さん、お気付きでしょうか。

ということですが今年の表紙も満月、しかもお城に満月という印象強い写真です。この写真、実は郡上八幡観光協会からご提供頂きました。お城は郡上八幡のお城です。郡上八幡は団体参拝でも訪れていますので、行かれた方はお城の姿を思い出されたことでしょう。

さて、八月の終わりから九月にかけて、三か寺団参でトルコを訪れました。祐天寺 住職の企画でしたが、初めてのトルコはとても印象的でした。

観光では奇岩で有名なカッパドキアで気球に乗りました。かつてこの観光用の気球が落下する事故がありました。今は万全の安全対策がとられていました。

このカッパドキアの奇岩群の中には奇岩そのものに穴を掘り、住居にして暮らしている方がいます。かつてはイスラム教の弾圧から逃れるキリスト教徒やゾロアスター教徒、ユダヤ教徒がやはり地下に多くの穴を掘り、身を隠していたようです。アナトリア高原の火山でできた石灰岩の奇岩群を人々は上手く利用してきているようです。

現在のトルコは御存知のようにイスラム教国となっています。イスラム教と聞くと過激な印象があるかと思いますが、過激なのはシーア派と呼ばれる派で、穏やかなスンニ派がトルコの主流です。オリーブやバラの産地として有名ですが、自給自足できる豊かな国です。あと数年で第一次世界大戦の敗北を受けて結ばれた条約の期限が切れることとなり、新しいトルコが世界に向けて発信されることになりそうです。

最後にペット供養塔のお知らせです。名称は、阿弥陀様の光を意味する無礙光塔と致しました。すでに着工し始めていて、年内には出来上がる予定となっています。詳しくは次号でお伝え致します。

十夜法要

十一月十六日（土）

十夜法要

午後四時～

本堂

法話

法要終了後～

本堂

講師 成田 憲信 上人

法話終了後、十夜法要にご参列頂いた方に芋煮のふるまいをさせていただきます。なお、芋煮会だけのご参加はご遠慮頂いております。

「生きてこそ」

皆さまは「ご先祖様の存在」を感じますか。

これは私の祖母の話です。私の祖母は長野の信州新町という長野の中でも自然の多い町に住んでおります。祖母の日常は、畑仕事をしたり町活動をしたり、毎朝先立つた祖父とご先祖様の仏壇の前で手を合わせるといういたって普通の生活を送っておりました。

しかし、忘れもしません。平成十年四月十七日午前四時過ぎ、突如ドガンという音が街中に響きわたります。近くに住んでいた任人が心配し音の方向に行くと、なんと祖母の家にタンクローリーが衝突し家の中でタンクローリーが入っています。原因は運転手の脇見運転、かなりのスピードで家に衝突し家は壊滅状態。その光景を見た近所の住人は信じられない光景に何もすることが出来ず、ただその場に立ちすくむことしかできませんでした。すると壊滅状態の家の中から血相を変えた祖母が出てきます。奇跡的に大きな怪我はしておらず少しガラスを踏んだ際のかすり傷程度です。

その時の祖母の話を聞くと、寝ていると大きな音で目を覚まし目の前に大きな車が家の中を走るのを見て周りを見わたすと外灯が家の中に倒れてきて、とっさに逃げだそうと思いい、変わり果てた家の中を走り玄関の方へ行くと、隣の部屋の仏壇の湯呑がコロコロと玄関まで転がって、さも湯呑が自分を安全な場所へと誘導しているかのように。その瞬間逃げたというより何かに助けられた思いがしたと話しています。

午前五時過ぎ、静まり返った我が家に一本の電話が鳴り響きます。寝ぼけた様子で母が電話

十夜回向に関するお知らせ

十夜法要では「塔婆」と「短冊」のご回向が選べます。それぞれ申込方法・冥加料が異なりますのでご注意ください。

また、ご回向は「〇〇家先祖代々」のみとさせていただきますのでご了承下さい。

塔婆回向 一霊 7,000円

短冊回向 一霊 3,000円

●お申込方法

塔婆 同封葉書にご記入の上、11月10日必着でお申込下さい。

短冊 同封の「書き方例」をご参照下さい。

●お支払方法

同封の振込用紙で郵便局にてお支払頂くか、当院受付までお持ち下さい。銀行・コンビニでのお支払はできません。

ご不明な点は梅窓院受付までお問い合わせ下さい。



昨年の十夜法要で法話をされた蔵澤道彦上人。

高田なみ特別ライブ

今年も高田なみさんの特別ライブを法話終了後、観音堂にて開催します!



プロフィール

透明感溢れる歌声のシンガーソングライター。地元富山でヴァイオリンとのユニットSora(ソラ)を結成してすぐにTVドラマの主題歌に抜擢され、北陸各地のイベントにも多数参加。2003年に日本コロムビアからメジャーデビュー、2007年にソロデビュー。同年発売したJ-POPの名曲をボサノバでカバーしたアルバムが好評にて、以後東京でのライブ・イベントにも多数出演。明るいキャラクターにより、TV神奈川「健康増進パイプ」にも現在レギュラー出演中。いつも暖かなメッセージをこめた優しいメロディと歌声を届け続けている。

2013年10月には珠玉のオリジナル曲を集めたフルアルバムをリリース予定。



平成24年度、十夜法要の様子。

に出ると相手は近所のおばちゃん「落ち着いて聞いてね、お母さんの家にトラックが衝突したの」それを聞いた瞬間、母は泣きだし崩れ落ちていたのを今でも覚えています。急いで祖母の家に行くと、空には取材のヘリコプター、家の周りには警察や取材陣でいっぱいになっていました。病院から帰ってきた祖母は全壊した家の前にいました。変わり果てた家には、小さい頃からの楽しかった思い出や祖父との幸せな思い出、ケンカしたり悲しんだりした辛い思い出も一瞬の出来事で全て消えてしまったのです。母は今まで見たことのない涙を流しながら祖母に「おかあちゃんが生きていれば大丈夫、家は壊れたけど、おかあちゃんさえ無事なら大丈夫」と涙でかすれた声で言うと、祖母は安心した表情で私達に「ご先祖様に守ってもらったから感謝しなくちゃね」と言っておりました。奇跡的なことに運転手も軽傷で済み、しかし家の中はほとんど壊滅状態、何故か仏壇だけが無傷で済んでおりました。

私は、全員無事だったのは日頃よりご先祖様を大切にされた祖母の功德であり、ご先祖様のご加護があったからこそだと考えております。これは後日談になりますが、タンクローリーが通ったベッドの目の前の場所は昔祖父が寝ていた場所だったと言っております。もしかすると身代わりとなり助けたと考えられます。祖母は先立った祖父を愛し思い続け、毎日仏壇の前で手を合わせお互いの声はとどかずとも祖父と思いが合っていたからこそ奇跡だと思います。

祖母は十五年経った今も毎日大好きな祖父とご先祖様に手を合わせるといういたって普通の生活を送っております。

(法務・若麻績)

十夜法要

十一月十六日(土)
法要／法話／特別ライブ／芋煮会
法要開始 午後四時～



Mラウンディングアップレトリサイタル

十一月十日(日)
開場 午後二時十五分
開演 午後三時～ 祖師堂
冥加料 檀信徒 二千元
一般 五千元

お申込受付中!!

【問合せ】青山文化村

〇三(三四〇四)八五八八

今年「Meine Liebe ～ロマン派音楽家たちの永遠の愛～」と題しての演奏です。

※曲目など詳しくは前号同封のチラシをご覧ください。



活動報告

郡上市・港区中学生体験研修

8月6日(火)

郡上市・港区の交流事業の一環として今年も郡上市の中学生の皆さんが梅窓院を訪れ、僧侶の話を聞いたあと青山家のお墓参りをされました。



お檀家さんに伺いました

平成25年
第59回念法会にて

「仏教とは何か、答えを探している途中で」

様

定年を過ぎ、何かに挑戦しようと日本語教師を目指し、韓国やパキスタンの子供に日本語を教えてきました。いろんな文化に触れる中で、宗教とは何だろう・仏教とは何だろうと考えるようになり、この念法会に参加するようになりました。少しでも人を集めて話をして伝えていくことが必要なので、この会も素晴らしい活動の一つだと思います。

また、8月に4人目の孫が生まれる前には、阿弥陀様にいい子が生まれるようにお祈り致しました。梅窓院の参道のお地藏様のようなかわいい男の子です。孫を見ると、その親である私の娘、そして私、それに繋がる阿弥陀様を想います。忙しい毎日ですがお参りにきたことで非常に心が落ち着きました。

発行 行／梅窓院
発行日／平成25年10月1日
発行人／中島 真成
編集 集／青山文化村
住所 所／〒107-0062
東京都港区南青山2-26-38
電話 話／03-3404-8447
FAX 話／03-3404-8436
ホームページ http://www.baisouin.or.jp/
E-Mail 話／jodo@baisouin.or.jp
題字 中村康隆元浄土門主
総本山知恩院第八十六世門跡